

令和8年度 第2回

希望郷いわてモニターアンケート

課題名	『子供の見守り活動等のボランティア活動』 に関する意識調査
-----	----------------------------------

令和8年6月

岩手県警察本部生活安全企画課

※この質問票は控えとしてお持ちいただき、回答用紙に回答を御記入ください。

『子供の見守り活動等のボランティア活動』に関する意識調査

岩手県警察本部生活安全企画課

I 趣旨

これまで、全国では子供が被害者となる痛ましい事件事故等が起きており、都度、地域住民や関係機関が一体となり子供の安全の確保に関する取組がなされています。

特にも、登下校時における重大な犯罪等被害を防ぐため、平成30年策定された登下校プランに基づき、登下校時における総合的な防犯対策の強化に全国で関係機関が取り組んでいるところ、当県で活動する防犯ボランティアは、担い手の不足やボランティアの高齢化などの影響により、年々減少傾向にあり、必要な人員が確保されているとは言えない現状にあります。

子供の安全確保に率先して取り組んでいる地域の防犯ボランティアの支援が求められており、新たな担い手の確保など裾野拡大による「地域の目」の確保が「地域の宝である子供の安全確保」には重要である。

これらの体制づくりは、街頭で発生する犯罪の抑止に加え、地域の防犯力の向上に繋がり、安全で安心なまちづくりという地域の良好な治安を維持するための根幹となるものです。

そのため、岩手県警察では、特に子供の見守り活動に当たるボランティア活動に焦点を置き、県民の防犯活動への認識や意識を把握し、「ながら見守り」を含めた子供の登下校時におけるボランティア活動に関する課題を探り、新たな担い手の確保・養成や必要な支援の方策等についてより効果的な支援・施策を図るため、皆様にアンケートをお願いするものです。

御多忙のところ恐れ入りますが、御協力をお願い致します。

Ⅱ 設問（以下の設問について、別紙回答用紙の該当欄に御記入願います。）

【始めに、あなたご自身のことについて質問します】

設問1 あなたのお住まい等環境について質問します。

問1 あなたのお住まいの地域で当てはまるもの1つを選んでください。

- ① 盛岡市近郊（盛岡市、滝沢市、雫石町、紫波町、矢巾町、八幡平市、岩手町）
- ② 県央部（花巻市、北上市、西和賀町、遠野市）
- ③ 県南部（金ケ崎町、奥州市、一関市、平泉町）
- ④ 県北部（二戸市、一戸町、葛巻町、軽米町、九戸村、洋野町、久慈市、野田村、普代村）
- ⑤ 沿岸北部（田野畑村、岩泉町、宮古市、山田町）
- ⑥ 沿岸南部（釜石市、大槌町、住田町、大船渡市、陸前高田市）

問2 あなたの年代で当てはまるもの1つを選んでください。

- ① 20歳未満 ② 20～29歳 ③ 30～39歳 ④ 40～49歳
- ⑤ 50～59歳 ⑥ 60～69歳 ⑦ 70～79歳 ⑧ 80歳以上

問3 あなたの性別で当てはまるもの1つを選んでください。

- ① 男性 ② 女性 ③ その他 ④ 答えたくない

問4 あなたの職業（職種）で当てはまるもの・最も近いもの1つを選んでください。

- ① 大学生・学生 ② 会社員 ③ 自営業 ④ 団体職員
- ⑤ 保育士・教員・教育関係者など ⑥ 農業・林業・漁業等
- ⑦ 公務員 ⑧ パート・アルバイト
- ⑨ 無職（定年退職後の方） ⑩ 無職（その他無職者）
- ⑪ その他（ ）

問5 あなたの世帯（同居のご家族）についてお伺いします。

あなたと同居されている方的人数（ご自身を除く）及びご家族について質問します。

（1） あなたの世帯構成（同居しているご家族数）について、当てはまるものを選んでください。

- ① 一人暮らし ② 2人暮らし ③ 3人以上の2世代家族
- ④ 3人以上の3世代家族 ⑤ その他（ ）

(2) 上記の質問で①以外を選択した方に質問します。

あなたと同居されている方の年代等ではあてはまるものについて、同居する家族全ての方に当てはまるものを選んでください。

- | | |
|----------------------|----------------------|
| ① 未就学児童・保育園児・幼稚園児（男） | ② 未就学児童・保育園児・幼稚園児（女） |
| ③ 小学生（男性） | ④ 小学生（女性） |
| ⑤ 中学生（男性） | ⑥ 中学生（女性） |
| ⑦ 高校生（男性） | ⑧ 高校生（女性） |
| ⑨ 大学生・専門学校等学生（男性） | ⑩ 大学生・専門学校等学生（女性） |
| ⑪ 有職 | ⑫ 無職（定年退職後の方） |
| ⑬ 無職（その他無職者） | ⑭ その他（ ） |

設問2 あなたご自身の経験やお住まいの地域の治安状況について質問します

問1 あなたご自身が被害に遭う不安を感じる犯罪は以下のうちどの犯罪ですか。最大3つまで、不安を感じる順に選んでください。

- | | |
|--------------------------|------------------------|
| ① 空き巣などの住宅を対象とした侵入窃盗被害 | ② 住宅以外（①以外）の侵入窃盗被害 |
| ③ 自転車盗 | ④ 自動車盗・オートバイ盗 |
| ⑤ 車上ねらい | ⑥ 住居侵入 |
| ⑦ 暴行・傷害等の粗暴犯罪 | ⑧ 性犯罪（不同意性交等・不同意わいせつ等） |
| ⑨ 誘拐・連れ去り・監禁等 | ⑩ 痴漢・盗撮・つきまとい・ストーカー |
| ⑪ すり・ひったくり・万引きなどその他の窃盗被害 | ⑫ 殺人・強盗・放火など |
| ⑬ 特殊詐欺 | ⑭ 訪問販売・訪問買取等に起因する犯罪 |
| ⑮ 暴力団・匿名・流動型グループによる犯罪 | ⑯ その他（ ） |
| ⑰ なし | |

問2 中学生以下のご家族と同居されている方に質問します。

中学生以下のご家族が被害に遭う不安を感じる犯罪について、上記問1の選択肢から不安を感じる順に3つまで選んでください。（※同居するご家族に中学生以下がおられない方は問3、一人暮らしの方は問4に進んでください。）

問3 高校生以上のご家族と同居されている方に質問します。（問2を回答した方で高校生以上のご家族と同居されている場合も回答してください。）

ご家族が被害に遭う不安を感じる犯罪について、当てはまるものを上記問1の選択肢から不安を感じる順に3つまで選んでください。

問4 全ての方に質問します。

あなたのお住まいの地域で発生している、または、発生が心配される犯罪について、上記問1の選択肢から不安を感じる順に3つまで選んでください。

問5 全ての方に質問します。

あなたのお住まいの場所（ご自宅等）と最寄りの小学校及び通学路の状況について、以下の選択肢から選んでください。

- ① 1キロ圏内に小学校があり、かつ、通学路に面している
- ② 1キロ圏内に小学校があり、通学路に面していない
- ③ 1キロ圏内に小学校はないが通学路に面している
- ④ どれにも該当しない

設問3 子供の見守りに関するボランティア活動に関して質問します。

問1 あなたご自身が子供の見守りに関するボランティア活動をしたことが有りますか。

当てはまるものを以下の選択肢から選んでください。

- ① ある（現在も携わっている）
- ② 過去にある（現在は活動をしていない）
- ③ ない
- ④ その他（ ）

問2 問1で「ある」（①または②）を選んだ方のみに質問します。（③・④の方は問6へ進んでください。）それはどのような活動ですか？最も当てはまるもの1つを選んでください。

- ① 通学路における見守り活動
- ② 青色回転灯等装備車両（青色回転灯等を点灯してパトロールする車両）によるパトロール活動
- ③ 子供110番の家
- ④ 地域安全マップづくり・通学路の安全点検等
- ⑤ ながら見守り（わんわんパトロール、ランパトなど）
- ⑥ 学校のPTA等の活動による（当番制のものなど）登校時間帯の見守り活動
- ⑦ スクールガードの活動
- ⑧ その他（ ）

問3 問1で「ある」(①または②)を選んだ方のみに質問します。

活動を始めたきっかけや知ったきっかけについて、当てはまるものを選んでください。(複数可)

- ① 友人・知人からの紹介
- ② 職場関係者からの紹介
- ③ 子供の学校等教育関係者からの紹介
- ④ ボランティア団体等からの紹介
- ⑤ 市町村・自治会・町内会等からの紹介
- ⑥ 警察等からの紹介
- ⑦ テレビ・新聞・広報紙等の広告を通じて
- ⑧ インターネット・SNS等の広報を通じて
- ⑨ サークル等学校のグループを通じて
- ⑩ その他()

問4 問1で「ある」(①または②)を選んだ方のみに質問します。

活動を通じて嬉しかった出来事、継続するモチベーションとなっている要因として考えられるものについて、以下の選択肢から当てはまるものを全て選んでください。

- ① 児童・保護者からの活動への謝辞・感謝の言動
- ② 学校関係者・関係機関等からの謝辞・感謝の言動
- ③ 地域住民からの謝辞・感謝の言動
- ④ 地域住民との交流や親睦
- ⑤ 自分の子や孫が通っているから
- ⑥ その他()

問5 問1である(①または②)を選んだ方に質問します。

問1で「①」を選んだ、「現在も活動をされている方」は、

活動を続ける上で負担に感じていることなどについて

問1で「②」を選んだ、「過去に活動をした経験がある方」は、

活動を辞めたきっかけや最大の要因について

それぞれ、自由に記載してください。

問6 全ての方に質問します。

あなたがお住まいの地域で現在行われている子供の見守り活動や、見かけたことがある子供の見守り活動はありますか。以下の選択肢から当てはまるものを選んでください。

- ① 登校時間帯の子供の見守り活動
- ② 下校時間帯の子供の見守り活動
- ③ 子供110番の家に関する取組
- ④ 防犯ボランティア団体による見守り活動
- ⑤ 青色回転灯等装備車両(青色回転灯等を点灯しパトロールする車両)によるパトロール活動

- ⑥ P T Aの活動による見守り活動
- ⑦ 町内会・自治会など地域住民の有志による見守り活動
- ⑧ その他（ ）

問7 全ての方に質問します。

あなたのお住まいの地域で子供の見守り活動の問題点（活動参加をためらったり、活動する人の負担になったり、活動を辞める要因）として考えられることについて、以下の選択肢から当てはまるものを選んでください。

- ① 防犯ボランティアの高齢化による活動継続困難
- ② 地域住民の関係性の希薄化
- ③ 活動に必要な資金及び補助
- ④ 防犯ボランティアへの負担一極化
- ⑤ 関係機関団体の理解・協力・支援の欠如
- ⑥ 関係機関団体の支援体制の欠如
- ⑦ 子供の減少による活動場所の消滅
- ⑧ 子供の登下校スタイルの変化による（車両による送迎等）必要性を感じない
- ⑨ 活動のマンネリ化
- ⑩ その他（ ）

【子供の安全策に関する体験等に関し質問します】

設問4 あなたご自身やあなたのお子さんなどの同居するご家族が、小学生・中学生当時に経験した出来事について、あなたが知っていることをお答えください。

問1 あなたが危険等に遭遇した、または、あなたが危険等に遭遇した子供に接した（ご家族を含む）機会がありますか？

また、そのときの状況について、次の項目別に当てはまるものを選んでください。

（1） 危険等遭遇した機会の有無について

- ① ご自身が遭遇したことがある
- ② ご自身以外（ご家族や地域の児童）が危険等に遭遇した機会に接したことがある
- ③ どちらもない
- ④ その他（ ）

※③を選択した方は問2に進んでください。

(2) 遭遇した出来事(当時)の状況について、以下の項目毎に当てはまるものを全て選んでください。

- a.時間帯等 : ① 登校時間帯 ② 下校時間帯
③ 下校後の外出時間帯(遊戯中、塾、習い事など)
④ 休日(登校日以外の土日祝日、長期休暇中など)
⑤ その他()

- b.事件事故の別 : ① 交通事故 ② 暴力行為等犯罪被害
③ 声かけ等の不審者事案(つきまとい、盗撮等含む)
④ その他()

- c.暴力行為等による負傷有無 : ① あり(怪我あり) ② なし
③ わからない・その他()

- d.学校・保護者等への連絡 : ① あり(ご自身がした) ② あり(ご自身以外の方がした)
③ なし ④ 不明
⑤ 必要が無かった ⑥ その他()

- e.警察への通報の有無 : ① あり(ご自身がした) ② あり(ご自身以外の方がした)
③ なし ④ 不明
⑤ 必要が無かった ⑥ その他()

問2 その当時、警察が発信している防犯情報に接する機会がありましたか。

また、「ある」と答えた方はその情報を得る伝達手段について当てはまるものを選んでください。

(1) 警察が発信する情報に接する機会の有無

- ① ある ② ない ③ わからない ④ その他()

(2) 情報の伝達手段

- ① テレビ等のニュース ② 新聞 ③ インターネット
④ 警察が発信している、メール(ぴかぽメール)、ホームページ、各種 SNS ツール
⑤ 回覧板や町内会の配布物 ⑥ 子供が通う学校等からの情報・配布物
⑦ 同僚、友人、知人などとの会話など ⑧ 巡回連絡や交番等からの配布物など
⑨ 市町村が保有するメール配信サービス・SNS 等ツール・防災行政無線等
⑩ その他()

設問5 子供の見守り活動を支援する方策や改善策に関する質問です。

問1 警察が発信する緊急の防犯情報を得る連絡ツールについて、全ての方に質問します。

警察からの子供の見守り活動や、お子さん（お孫さん）の安全を確保するために必要なタイムリーな（緊急時に必要な）情報をご家庭に伝達する手段として、どのような手段（ツール）が最も効果的と考えますか？

上記設問4の問2（2）の選択肢から1つ選んでください。

問2 警察から一般的な防犯情報を得る連絡ツールについて質問します。

緊急事案を除く、警察が発信する一般的な子供の安全確保に資する情報を得る場合、各家庭において最も情報を目にしやすい手段（ツール）は何ですか。

上記設問4の問2（2）にある選択肢から当てはまるものを選んでください。

問3 子供の見守り活動への参加について質問します。

子供の見守り活動には、日常生活の中で防犯の視点を持った見守り活動を行う「ながら見守り」があり、例えば、飼い犬の散歩をしながら行う「わんわんパトロール」、ランニング等を行なう「ランパト」、買い物をしながら等のそれぞれの日常生活や趣味を通じて行うなど、ご自身のライフスタイルに合った無理のない、自分が出来る範囲で気軽に行うことが出来るボランティア活動です。

あなたご自身が今現在の環境で取り組めそうな子供の見守り活動で、機会があれば取り組んでみたいと感じる活動（今現在取り組んでいる活動を含む）について、以下の選択肢から当てはまるものを選んでください。

- ① 登校時間帯の子供の見守り活動
- ② 下校時間帯の子供の見守り活動
- ③ 青パト車両によるパトロール見守り活動
- ④ 子供 110 番の家
- ⑤ ながら見守り活動（庭先で作業中・犬などの散歩中、ウォーキング・ランニング中など）
- ⑥ 勤務先で行う活動があれば（勤務先で可能であれば）
- ⑦ 休日のみで活動可能なものがあれば
- ⑧ その他（ ）

問4 自身が活動を行う場合、どのような地域・時間帯の活動であれば、子供の見守り活動に参加したいまたは、参加できますか（今現在取り組んでいる活動を含む）。以下の選択肢から当てはまるものを選んでください。

(1) 活動可能な地域（エリア）について

- ① 自宅前 ② 自宅周辺（概ね 100 メートル圏内） ③ 町内会・自治会の範囲
④ 自宅から小学校等学校までの間 ⑤ 自宅から通勤先等目的地までの範囲内
⑥ 小・中学校の学区内 ⑦ 市町村全域 ⑧ 勤務先周辺
⑨ どこでも（距離は関係ない）・特にない ⑩ 公園・広場等 ⑪ その他（ ）

(2) 子供の見守り活動ができる（してみたい・活動可能な）時間帯

- ① 早朝～登校時間帯 ② 登校時間帯のみ ③ 午前中 ④ 午後
⑤ 1 日いつの時間帯でも可能 ⑥ 在宅時（出勤前・帰宅後）
⑦ 出勤中や帰宅途中のみ ⑧ 平日のみ ⑨ 休日のみ ⑩ 勤務中のみ
⑪ 下校時間帯のみ ⑫ 不定期で空き時間があれば ⑬ 時間帯は関係ない
⑭ 車で移動しているときのみであれば ⑮ その他（ ）

問 5 見守り活動をする上では複数の機関の連携がより効果的だと言われています。下記の機関で連携が必要であると考えられる機関（団体等）は、どことどこですか。優先順位が高い順に連携が必要な組み合わせを 3 組まで選択し、その理由または必要な取組内容を記載してください。

（※【記載例】①警察と②小学校 理由：子供の安全に密接にかかわる機関だから）

- ① 警察 ② 学校（小学校・中学校） ③ 市町村教育委員会 ④ 市町村
⑤ 県教育委員会 ⑥ 町内会・自治会 ⑦ ボランティア団体 ⑧ 保護者
⑨ PTA ⑩ 学童・放課後児童クラブ等 ⑪ 保育園・幼稚園 ⑫ 地域住民
⑬ 企業 ⑭ 民生委員・児童委員 ⑮ 県・市町村社会福祉協議会等
⑯ 子供会 ⑰ 高校・専門学校・大学等 ⑱ その他（ ）

問 6 子供の見守り活動を続ける上で必要なことや、子供が被害となる犯罪等を防ぐ上で必要だと思う取組、またはアイデアについて、意見等がある方はご自由に記載してください。

問 7 その他、意見等がある方は、ご自由に記載してください。

◎ 御 協 力 あ り が と う ご ざ い ま し た